

## 2021年度 活動報告

福岡県代協はコロナ禍の下、昨年度に引き続き WEB を活用したセミナー開催並びに支部活動を中心とした代協活動の強化および委員会活動の活性化を図った。また、三役会の開催・業務監査の実施・理事会と支部長会議の個別開催等、理事会メンバーと支部長間の情報共有に努めた結果、コロナ禍でリアルな活動は出来なかったものの、以下の5項目の年間目標を達成して、見事「プラチナ三冠王(5冠)」「三冠王V4」を獲得することが出来た。

- ① 仲間づくり推進：年間目標13店入会に対し、14店の入会を達成。  
\*これは18年連続年間目標達成(V18)という快挙である。
- ② 損害保険大学課程コンサルティングコース受講者数：年間目標35名に対し、60名を達成。
- ③ ぼうさい探検隊マップコンクール提出数：年間目標5団体に対し、8団体を達成。
- ④ 日本代協アカデミーID増登録数：年間目標80に対し、277を達成。達成率(346.3%)の大成果を上げた。
- ⑤ 代協体制整備(2022年度会費改定)

### <主な開催セミナー>

#### 1. 代理店賠償セミナー2021

- ・2021年9月2日(木)、ウエビナー開催、
- ・演題：代理店の賠償責任と最近の事故例
- ・講師：杉山 幹久 氏(Chubb 損害保険株式会社 営業開発本部長)
- ・参加者 309名

#### 2. BCPセミナー2021

- ・2021年11月15日(月)、ウエビナー開催、
- ・演題：BCP策定支援セミナー
- ・講師：粕谷 智 氏(日本代協アドバイザー)
- ・参加者 104名

#### 3. 福岡3支部合同セミナー

- ・2021年12月7日(火)、リアル開催
- ・演題：代協ガチ座談会
- ・講師：野元 敏昭 氏(日本代協専務理事)
- ・場所：福岡中央市民センター3階ホール
- ・参加者 70名

#### 4. 新春セミナー・2022年

- ・2022年1月21日(金)、ウエビナー開催、
- ・演題：第1部 仲間と掴んだ金メダルへの軌跡  
第2部 保険代理店のこれからの10年
- ・講師：第1部 道下 美里 選手(東京2020パラリンピック・マラソン金メダリスト)  
第2部 望月 広愛 氏(日本代協アドバイザー)
- ・参加者 226名

## 組織委員会

### 1. 会員の増強と基盤の強化

県単位で実施したオンラインセミナーおよび各支部の ZOOM 活用によるセミナーの開催など支部活動と併せて、代理店賠償「日本代協 新プラン」の推進を軸に「仲間づくり推進運動」に取り組んだ結果、年間入会目標 13 店に対し、14 店の入会を達成して 18 年連続目標達成 (V18) を成し遂げることができた。

しかしながら、昨年に引き続き保険会社の代理店統廃合戦略により退会数が 39 店を数えた結果、会員数は年初の 583 店から大幅に減少し 558 店となった。組織率は 53.9% となったが、会員数の減少は組織の衰退となると認識し、会員数を維持していくことも今後の大きな課題である。そのためにもチャネル区分に囚われず「プロの志を有した代理店」を代協会員に取り込むことも必要である。

### 2. 支部活動の更なる充実と自主的な支部活動

昨年に引き続き今年も、コロナ禍の影響で支部運営はリアル開催が出来ないため WEB (ZOOM) を活用したリモート運営に終始した。県 ZOOM の活用が定着し ZOOM での支部役員会・例会が着実に実施され、各支部主催のオンラインセミナーを全 7 支部で開催することが出来た。WEB (ZOOM) の活用により例会・セミナーが手軽に開催できるようになった反面、オンラインセミナー・例会に参加できない WEB (ZOOM 等) が苦手な会員が一定数存在しその対策が急務となっている。

代協活動の基本は支部活動であるが、活動自体に閉塞感が漂い、支部長はじめ支部役員は支部活性化のため大変苦勞している。

### 3. 代理店賠償「日本代協新プラン」の推進

2021 年度更新時 (10 月 1 日) の継続率は 97.1%、加入率は 87.0% となり、全国平均の継続率: 97.4%、を若干下回ったものの加入率: 85.9% を上回った。

また、昨年度に引き続き更新結果を反映したチャレンジリストを活用して、未更改会員のトレースを実施し更改漏れ防止を実施した。

### 4. 昨年代理店経営支援とチャネル競争力強化策として、会員サポート事業を立ち上げた。

今年度も引続きコロナ禍の中役員および旧アイエス代理店の利用により当初予算を達成した。カーサポート事業 (自動車修理、レンタカー、買取、カーリース、法律相談) 同様に 2021 年に開始したガソリン、ETC カード提携と遺伝子検査プランは利用代理店に好評であるが、幅広く代理店に周知することが課題である。

## 教育委員会

### 1. 日本代協アカデミーの情宣および登録推進への取組み

日本代協独自の教育システム『日本代協アカデミー』の定着化に向け、昨年度に引き続き会員への周知と ID 登録の勧奨を行い福岡県は登録 ID 数増目標 80 に対して、277 を達成し三冠王項目の 1 冠を達成した。しかしこの結果は大型会員 1 店の登録に依存したもので、アカデ

ミー採用の会員増を図ることが急務である。今年度は新たな取り組みとして、アカデミー勉強会（セミナー形式）を実施、29会員の参加があった。

## 2. 『損害保険大学課程』コンサルティングコース・セミナーの運営

日本損害保険協会より委託を受け、本年度はWEB開催でコンサルティングコース・セミナーの運営を行った。WEB開催は初めての事であり、かなり事前準備に時間を費やした。また、一定のスキルが必要であり、運営スタッフ確保育成に苦慮した。

第1回-①令和3年12月17日（金）WEB開催 受講者数63名

第2回-①令和4年 1月20日（木）WEB開催 受講者数70名

合計 133名

## 3. 『損害保険大学課程』コンサルティングコース受講生の募集推進

申込受付期間2021年12月1日から2022年2月15日まで。

損保協会九州支部と連携して募集活動を行った。

福岡県は申込者数目標35名に対して、申込者数60名、達成率172%に達した。

## 4. 代理店ベンチマーク研修

PRAを活用し事務効率を上げている代理店を訪問・取材した上で、編集した動画を視聴し研修を行った。Zoomでの開催だったが、先進的な取組であり、勉強になったとたくさんの反響をいただいた。参加者90名 アンケート回収48名

# 企画環境委員会

## 1. 代理店制度に係る諸問題への取組み

日本代協作成の「代協活動の現状と課題」に掲載される「活力ある代理店制度等研究会」の報告内容について、企画環境委員会で勉強会を実施し、支部に広めるよう努めた。

また、不公正募集に関連した項目及び住宅修理業者問題について事案をウォッチし、情報の共有を図った。

## 2. 募集環境の整備活動

不公正募集の疑いがある事例を収集し、日本代協で進めている疑義事案のデータベース化に寄与すべく、不公正募集警告チラシの活用や不公正募集の報告ルール徹底を図った。

## 3. チャンネル間競争力強化

保険募集のプロ集団として、お客さまにとって価値向上を図り、他チャンネルとの競争力を確保するため、以下の施策推進を行った。事業継続力強化認定は、2021年度63会員が取得した。

- ・事業継続力強化認定の取得
- ・社労士診断認証の取得
- ・日本代協版「リスクマネージメント講座」の受講

## CSR委員会

### 1. 社会貢献活動・地球環境保護活動を推進・参加取組み

#### (1) 「ラブアース・クリーンアップ」

コロナ禍のため中止

#### (2) 「筑後川清掃活動」

コロナ禍のため中止

#### (3) 「ひまわり絵画展」設営・撤収ボランティア

・日時：2021年7月29日（木）設営、8月4日（水）撤収

・会場：リバーウォーク北九州 市民ギャラリー

・ひまわりアートプロジェクト主催絵画展の設営・撤収ボランティアに、十分な感染対策を行ったうえで北九州東支部から延30名が参加。

#### (4) 使用済み切手収集、寄贈

各支部で収集した使用済み切手を福岡県代協事務局で取りまとめ、福岡市社会福祉協議会・ボランティアセンターへ持込んだ。

#### (5) 献血応援月間

本来は、昨年度に引き続き11月1日～30日の1カ月間を応援月間として献血活動を行う予定であったが、コロナの影響のため、献血情宣活動に切り替え、チラシを作成し会員への献血協力要請を行った。

### 2. 「ぼうさい探検隊マップコンクール」への参加を呼びかけた。

コロナ禍でもあり、タブレットを活用した少人数での参加呼びかけを行った。その結果、提出目標数5団体に対して、8団体の提出があり1冠を獲得することができた。

### 3. 地震保険の情宣普及、無保険車追放、盗難防止、飲酒運転撲滅等の街頭活動

関係団体と連携実施してきたが、昨年度に引き続き、コロナ禍の影響ですべて中止となった。

## 広報委員会

### 1. 「みなさまの保険情報」の購入促進

購入目標を会員の5%：32会員と定め、最重点項目として情宣活動を図ったが、思うような進展が見られなかった。

次年度は広報委員会を中心に情宣方法を見直し、再度取り組みを強化したい。

### 2. 「福岡県代協ニュース」の発行

2021年5月、2022年1月の2回発行した。

いずれも、各委員会・各支部と連携し、重要取組み事項の情報発信、情宣活動強化を意図したもので、PDF版で全会員へメール配信すると共に、福岡県代協ホームページのサイドメニュー「福岡県代協ニュース」に掲載した。

### 3. 日本代協PR企画の情宣

2021年度日本代協PR動画の情宣を理事会・支部長会・広報委員会を通じて、各支部会員へ行った。

#### 4. 公式ラインアカウントの活用

新しい情報発信・共有手段として、支部単位（7支部）で公式ラインアカウントの設定を行った。全支部で2月より実際の運用を開始したが、久留米支部を除き登録会員が少ないため如何に多くの会員にライングループに参加してもらうかが、次年度の課題である。

以上